



学校だより

たくま

白鷹町立荒砥小学校 令和5年 3月17日

元気！本気！…あいうえお… 感謝！

校長 菅原 透

ソメイヨシノが東京ではもう開花したとか…。麗らかな気候とともに、別れの時、そして新たな出会いの 때가やってきます。

今年、コロナ禍3年目。感染対策による縮減に配慮しつつ、子ども達の笑顔が輝く教育活動を追い求めての学校経営となりました。創立151周年の新たな伝統として、地域の方よりお力添えいただく体験活動を始め、5年生の田んぼの学習や1・2年生の畑の学習等を行うことができました。

「琢磨校」の誇りを受け継ぐ子どもの姿、地域に勢いを生む子どもの姿として「あいうえお名人」の育成に継続して取り組みました。おかげさまで、子ども達自身が「あいうえお」を意識して生活できるようになり、自信もついてきたように思います。そして、合言葉は「元気！」「本気！」。2つのキーワードをもとにエネルギッシュな毎日を送り、たくさんの思い出を創ることもできました。まだまだ、伸びしろがある子ども達です。今年度の足跡を礎として、校是「琢磨」を胸に、さらに輝きを放てるように成長してほしいと願っております。

このようなメッセージがメンコちゃんから届きました。「私は、校長先生をそんけいしています。校長先生のいつもの笑顔が好

きです。残り少しよろしくお願ひします。」
“そんけい”には値するはずありませんが、“笑顔が好き”には心躍る思いでした。そこに“いつもの”をつけていただいたことは、これまでの自分の姿が何かしら子ども達の心に投影されていたことが嬉しくてたまりませんでした。優しい心の育ちに心が震えました。子どもとのかかわりが大好きで、目を合わせる事、声をかけ合う事、ふれ合い交わる事を楽しませてもらってきました。一方、校長は、子ども・職員のモデルたるもの…と自身を鼓舞し、“笑顔でいるから幸せになれる”ことを体現すべく務めてきました。一人でもそのように感じてもらえたことが、何よりの宝物でした。あるクラスの国語の学習で「学校自慢は校長先生」「学校を明るくしてくれる」と言ってもらえたことにも、言葉で表現できないほど感激しました。元気と本気だけがとりえの私ですが、「四かけ人」として、教職人生最高のプレゼントをいただきました。

4年間にわたる母校荒砥小学校の経営。子ども達からたくさん力をもらい、お家の方、地域の皆様に支えていただき、ここまですすめることができました。感謝の思いでいっぱいです。ありがとうございました。

= 6年間皆出席13名! =

梅津 瑠铸	岡崎 隼大
小林 陽翔	紺野 玲那
鈴木 理夢	富樫 迪来
長谷川蓮季	奥山 新
小関 瞬	佐々木紅美華
高橋 梨桜	竹田実乃里
守谷宗汰郎	~すばらしい!!~



= 6年バイキング給食 =

2月28日(火)に、6年バイキング給食が行われました。調理場の方は朝6時から準備されたとか…。子ども達のために力を尽くしてくださったこと、真心を込めて作ってくださったことに感謝しながらいただきました。大満足! 最高の思い出ができました。ありがとうございました。



= 年度末・年度初めの予定 =

3月19日(日) ~ 春休み
3月27日(月) お別れ式
4月 6日(木) 新6年登校
4月 7日(金) 始業式・入学式



= 6年生に感謝する会 =

3月7日(火) 5年生が企画準備した6年生に感謝する会が行われました。まずは6年生の入場からスタート。一人ひとりがポーズをとって大歓声。“猛獣狩り”というゲームで仲間づくり。そして、各学年の心のこもった発表がありました。

中にプレゼントを用意した学年もあり、温かさに包まれました。それを受けての6年生の発表は、担任団も含めたすてきなものの…。感動の連続でした。5年生の運営も見事。来年は任せとけ!と言わんばかり。感謝にあふれる時間となりました。ありがとう!



学校運営協議会の皆様より、子ども達の健全育成、学校の円滑な経営に向けてたくさんのお力添えをいただきました。今回は「あいうえお名人」「四かけ人」を啓発するポスター配付。コミセンとも連動し、地域総出でめんごい子どもを育ててまいりましょう。